

Ⅱ 『平家物語』についての課題論文の試み

白 井 宏

高校1年生に、夏休みの課題として、『平家物語』に関する自由論文を書かせた。夏休みに入る直前の授業で『平家物語』の簡単な解題をし、冒頭の「祇園精舎」だけを教室で扱った。論文の題材・方法は全く自由とし、個人研究でもグループ研究でもよいということにした。古典学習を本格的に始めてからまだ日が浅いので、どういうことになるか若干心配ではあったが、全員提出し、内容も思っていたよりもよかった。次にそれらの全題目と、一部については、内容に関する簡単な説明をあげておく。(題目の最後に、そのレポートを書いた生徒の性別を参考のために付した。)

I グループ研究

1. 小督 女 3人
2. 扇の的 女 2人
3. 建礼門院・平徳子 女 2人
「灌頂巻」本文の解釈・文法、徳子関係の年表、系図などを記し、最後に、彼女の生年(1155, 1156, 1157の三説あり)と享年(1191, 1213の二説あり)について、8種類の資料をあげたうえで、レポーターなりの推理をしている。
4. 倶利伽羅落 男 2人
5. 灌頂巻 女 2人
6. 英雄達の「死」 女 2人
7. 『平家物語』における段落表現の一研究 男 2人

角川文庫本によって、すべての段落末表現を抜き出し、それを統計的に整理した力作である。その結果、総数779のうち過去の助動詞「けり」が383と半数近くを占め、この物語の歴史文学性、詠嘆調の文体的根拠に気付き、和歌によって段落が終わるのが全体の3%以上もあることがこの物語のリズムと関係があることを述べている。

8. (全般にわたって) 男 3人
○全体にわたってさまざまな方面から整理してある。
○合戦マップなど当世風の劇画調がおもしろい。
9. (全般にわたって) 男 2人

II 個人研究

(1) 人物に関するもの

10. 建礼門院 男 11. 建礼門院 女

12. 建礼門院 女
13. 平清盛 男 14. 平清盛 女
15. 平重盛 男 16. 忠盛, 清盛, 重盛 女
17. 清盛, 頼朝 男 18. 清盛, 義仲, 義経 男
19. 20. 21. 22. 妓王 男, 女, 女, 女
23. 清盛と女性一妓王より 男
24. 平家一門 女
25. 源頼朝 男
26. 27. 源義経 男, 女
28. 29. 30. 木曾義仲 男, 男, 男
31. 木曾義仲 男

『平家物語』本文に即しつつ義仲の一生を伝記風につづり、義仲ゆかりの地木曾(興善寺・旗上げ八幡・徳音寺・兼遠館など)を実際にたずね、19葉の写真を交じえながらの紀行文を書いている。

32. 那須与一 男 33. 熊谷直実 男
34. 怪僧文覚 女
35. 平家物語46人衆 男
36. 平家物語登場人物 男
37. 平家の女について 女
38. 平家の中の女性たち 男
39. 仏教文学を彩る女性たち 女

物語中8人の代表的女性(仏御前・小宰相、横笛など)をとりあげ、概説したあと、まとめとして、愛の悲しさとそれを乗り越えて仏教の世界に生きようとするある種の強さを共通として導き出している。また、軍記文学としての『平家物語』の中の貴族文学の名残りを、これら女性造型に見る、としている。

(2) 事件あるいはある巻に関するもの

40. 41. 42. 43. 宇治川先陣 男, 男, 男, 女
44. 45. 壇浦合戦 男, 女
46. 屋島と壇浦 男
47. 壇浦と平家滅亡 女
48. 先帝身投 女
49. 50. 木曾殿最期 男, 女
51. 殿上の闇討・木曾殿最期 男
52. 53. 足摺 男, 女

54. 赦文, 足摺 男 55. 善光寺炎上 男
 56. 以仁王まで 女 57. 白山事件 男
 58. 橋合戦 男 59. 阿古屋の松 男
- 『平家物語』を出発点に, 浄瑠璃・歌舞伎にまで及ぶ研究で, 最後はアコヤ貝の由来にまで話が及んでいる。
60. 忠度都落 女 61. 福原落 女
 62. 敦盛最期 女
 63. 忠度都落・那須与一 女
 64. 入道逝去 女 65. 女院御往生 女
 66. 灌頂巻 女
- 巻中の活用語をすべて指摘し, それぞれに文法的説明を加えてある。統計的处理はされていない。
67. 源氏どうしの争い 男
 68. 平家物語における不思議な出来事 男
 全篇にわたって, 変化の物・天狗・物怪・夢の実現など不思議な出来事を抜き出して整理してある。
- (3) 書誌に関するもの
69. 成立 男 70. 成立・流動と成長 男
 71. 異本について 男
 異本の系統を調べ, 代表的テキスト5種を校合し(「祇園精舎」「宇治川先陣」), 屋代本の影印のコピーを付してある。本格的である。
72. 作者・成立・その他 女
- (4) 文法に関するもの
73. 係り結ぶ 男
 未整理ではあるが, とにかくすべての「係り結び」を抜き出した努力は大変なものである。
74. 形容詞 男
 これまた未整理ではあるが, すべての形容詞を抜き出している。
75. 音便について(「宇治川の先陣」より) 女
- (5) 特殊研究
76. 77. 78. 年表作成 男, 男, 女
 79. 仏教思想 男 80. 武具・服装 男
 81. 登場した植物 男
 82. 登場した生物 男
 83. 平家物語にみる仏教用語 女
 大学ノート一冊全部を使って物語中の仏教用語を調べている。最後の感想のところ「私たちが今でも使っている言葉の中にも仏教的なものが多いのに驚きました。」と記している。
84. 諸行無常・盛者必衰 男
 85. 清盛の死因 男
 86. 平家物語の和歌 男

物語中の全ての和歌を抜き, 解釈を付し, 最後にレポーターの選んだベスト5をあげている。

87. 88. 和歌について 男, 男
 89. 吉川英治の平家観 男
 吉川英治の『新・平家物語』と読み比べている。
90. 「あはれ」の文学
 「あはれ」・「泣く」・「涙」・「袖を絞る」等の語の頻度数を調べ, 『平家物語』の基本的性格を考えている。
91. 会話部分における敬語と人間関係 女
 敬語法について概説したあと四つの巻(4.6.9.11)から会話部分を抜き出し, 解釈し, 人間関係を図示などしている。最後に混乱している現実の敬語状況にも論及している。
92. 平家物語における話手と作者の関係 女
 93. 平家物語と琵琶法師 女
 94. 平家物語と謡曲 女
 平家物語に「詩的」に部分が多く, その部分が謡曲に利用されている部分と重なるのではないかというのが筆者の仮説であるが, 結論は, 平家物語全体が「詩的」であるということ。(平家と謡曲との本文比較が大きい作業であった。)
95. 平家物語, 人々の涙 男
 物語中の涙及び泣く場面を全て抜き出し, 原因(死, 愛情, 没落他), 種類(悲しみ, 感涙他)ごとに分類している。
- (6) 全般にわたるもの
 男14名, 女12名が, 平家物語全般にわたる論文(感想などが主流)を書いている。

最初に述べたように, 高校1年生の1学期が終わっただけでこのような論文を課すのは, やや無理だったようにも思うが, 夏休みという長い期間だったので, かなりまとまった事ができた者も多かった。この課題を機に『平家物語』全文を通読したものが1割強もいたことも収穫だったし, 全文ではなくても, ある巻あるいはある章段をじっくりと読んだものは相当多かった。

しかし, 期間が夏休みだったということは, 途中で指導や助言を与えたり相談にのったりする機会が持たなかった事, グループによる共同研究がやり難かったことなどの不満もある。

とにかく, ほとんど全員のものが, 『平家物語』が好きになったようであり, 今後も時期や方法を考えてしっかりとやらせてみたいと思う。